

# 施策項目 1 6 健康教育の充実

[評価結果]

【担当課：健康・体育課】



担当課HP

<b>総合評価</b>	<b>概ね計画どおり</b>
-------------	----------------

定量評価 [指標]	B
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	1	3	0
	d 評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
<p>健康教育の充実に向けて、「子どもたちが生涯にわたって健康な生活を送るための資質・能力の育成」や「学校、家庭、地域が連携した体制の充実」が課題となっていることから、健康教育推進リーダーによる健康課題解決に向けた実践研究及び成果の普及や、養護教諭を対象とした研修等において組織活動の活性化に関する演習・協議等を実施した。研修形式を集合とオンラインのハイブリッド形式で実施したことにより、養護教諭に加え、管理職等の参加もあったほか、参加者からは「PDCAサイクルを意識した実践が参考になった」という意見が多く寄せられるなど、成果がみられた。</p>	

## [施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) 生涯にわたって健康な生活を送るための適切な意思決定や行動選択などの資質・能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満傾向児の出現率や朝食欠食の割合が全国よりも高くなっており、望ましい生活習慣の確立に向けた指導を充実させることが必要</li> <li>・12歳の永久歯の一人当たり平均むし菌数等が、依然として全国平均を上回っていることから、歯・口腔の健康づくりの推進が必要</li> </ul> <p>(2) 学校、家庭、地域が連携した体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化した児童生徒の健康課題（新興感染症やメンタルヘルスの問題等）に対応するため、教職員の指導力の向上や学校・家庭・関係機関の連携体制を構築するための支援が必要</li> </ul>
---------	---

(1) 生涯にわたって健康な生活を送るための適切な意思決定や行動選択などの資質・能力の育成	
[P]	<p>① 健康教育推進リーダーを指定し、北海道の子どもたちの健康課題の解決に向けた実践研究及び成果の普及を実施</p> <p>② 児童生徒の歯・口腔の健康づくりの推進のため、小学校におけるフッ化物洗口の未実施、又は一部未実施の市町村に対して、地域の実情に応じた働き掛けを行い、全ての市町村の全小学校においてフッ化物洗口を実施できるよう体制を整備</p>
[D]	<p>① 健康教育推進リーダーを指定（各校種1名、計4名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各リーダーによる児童生徒の健康課題の解決に向けた実践研究</li> <li>・実践研究に関する協議や成果の検証等を行うオンラインミーティングの実施（4回）</li> <li>・健康教育推進研修会における実践発表（12月開催、120人参加）</li> <li>・成果物の作成、普及啓発</li> <li>・初任段階養護教諭等研修の講師、初任段階養護教諭への支援（対象者136人）</li> </ul> <p>② 新型コロナウイルス感染症の影響により、フッ化物洗口の実施を見合わせている市町村の把握（R3：93市町村→R4：81市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物洗口の未実施市町村（一部未実施含む）状況把握</li> <li>・会議や研修会等において、フッ化物洗口の有効かつ適切な情報の提供（初任段階養護教諭等研修（オンデマンド研修）、76名受講）</li> <li>・再開、未実施及び一部未実施の市町村（教育委員会及び保健福祉担当）を対象としたオンラインによる説明会の実施（3月2回実施、延べ80市町村教委、42市町村が参加）</li> </ul>
[A]	<p>① 健康教育推進研修会の開催地の増加（3箇所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育推進研修会への参加校数の目標等を設定し、計画的に成果の普及を図る</li> <li>・初任段階養護教諭等研修において、校種別のオンライン交流会を設定し、健康教育推進リーダーとの情報交換の場を設定</li> </ul> <p>② 引き続き、保健福祉部と連携し、再開を見合わせている市町村や未実施の市町村が、実施する際に参考とすることができるよう実施校の事例の提供や対象となる市町村への丁寧な説明を実施</p>
(2) 学校、家庭、地域が連携した体制の充実	
[P]	<p>① 養護教諭の研修等において、各学校の実態に応じた組織的活動に関する演習・協議を実施</p> <p>② 教育局による好事例等の資料を活用した学校への指導助言の実施</p>
[D]	<p>① 養護教諭を対象とした研修において、専門家や保護者が参加する学校保健委員会の計画の作成など、組織活動の活性化に関する講義・演習の実施（初任段階養護教諭等研修 359人、中堅養護教諭等資質向上研修 34人参加）</p> <p>② 教育局への指導助言資料の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育局の担当者を対象とした指導助言のポイントに関するオンラインミーティングの実施（2月）</li> <li>・校長会議等における指導助言の実施（6回）</li> </ul>
[A]	<p>① 確実に自校の実践につなげるための初任段階養護教諭等研修のプログラムを構築</p> <p>② 学校訪問時に効果的に助言できるよう「学校保健委員会のPDCAサイクルシート」を作成、活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の校長会議等における情報発信</li> </ul>
[C]	<p>① 研修で組織活動の活性化に関する計画を立てても、自校の実践につなげていない実態があることから、初任段階養護教諭等研修で確実に実践につなげるよう、プログラムの構成の工夫を図ることが必要</p> <p>② 教育局による学校訪問時に短時間で各学校の実態に合った指導助言ができるような方策を検討することが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会議等における指導助言の実施が高校向けが多くなっていることから、小・中学校向けの説明を実施することが必要</li> </ul>

## [指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象	
		実績値（下段）												
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)							
① フツ化物洗口を実施している小学校の割合(%)	(H28)		80.0	85.0	90.0	95.0	100	85.0%	C	フツ化物洗口 実施状況調査	道教委	R5.4	公立小学 校	
	64.7	73.4	82.2	83.5	84.2	84.2	85.0							
② 学校保健委員会を、年間に複数回開催し ている小・中学校、高等学校の割合(%)	小	(H29)		45.0	60.0	75.0	90.0	100	82.3%	C	学校保健委員 会の設置状況 等調査	道教委	R4.4~ R5.3	公立小・ 中・高等 学校
		21.1	21.1	51.2	56.0	58.5	76.6	82.3						
	中	(H29)		50.0	65.0	80.0	90.0	100	86.5%	C				
		27.6	27.6	56.5	60.0	63.9	83.2	86.5						
	高	(H29)		60.0	70.0	80.0	90.0	100	91.8%	b				
		42.9	42.9	49.8	55.3	59.3	88.4	91.8						
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価			B						
	0	1	3	0										
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸び なかった指標又は低下した指標に対する今後 の取組	① 保健福祉部(保健所等)とともに未実施市町村を訪問し、実施に向けた働き掛けを行うとともに、飛沫で感染リスクが高 まるかもしれないとの危惧からフツ化物洗口を中断している市町村に対し、再開を支援するためのリーフレットの配付や 定期的な再開状況の点検を行うなどとして、実施・再開に向けた取組を推進する。													
d評価に対する今後の取組														